

第52回鴨川府民会議（書面開催）の メンバー意見

第52回鴨川府民会議（書面）議題等に関する意見

1 鴨川・高野川令和3年度整備予定内容

<令和3年度の整備箇所（6箇所）に対する質問3点>

- ① 例年比較で、箇所数が多いか少ないか？
 - ・令和2年度 6箇所 令和元年度 8箇所 平成30年度 7箇所
- ② 6箇所の整備費用の予算額
 - ・整備費用については、入札情報の公開等により対応しております。
- ③ 予算額は例年及び前年と比較してどういう状況か？
 - ・上記同様、ご理解願います。

資料では、6箇所の整備が挙げられていますが、件数は例年なみでしょうか。
これら6件の整備にかかる費用は合計でいくらでしょうか？
その金額も例年（または前年）に比べどういう状況でしょうか。

①<治水対策>堆積土砂撤去

<2件のご意見を頂戴しました。>

- ① 鴨川の源流（上流域）に堆積土砂を解決する何かがあるのではないかと？
- ② 鴨川中流域の定期的な堆積土砂の撤去は行えないかと？
 - ・参考意見ありがとうございました。

- ① はじめての会議で、年間何万m³もの堆積土砂が撤去されていることを知り、本当に驚きました。それまでは中州も美しい景色として楽しんでいました。葵橋、北山橋、柘野上流の土砂撤去は、もちろんですが、さらに上流はどのような状況でしょうか？堆積土砂の源は？山が削られているのか？谷川の護岸や川底の土が流れ出しているのか？私たちの目は下流（華やかな市街地）の変化について向きがちですが、棧敷ヶ岳を源流とする鴨川の、そのスタートの静かな広い草深い場所こそ、堆積土砂を解決する何かがあるのではないのでしょうか？上賀茂の長老が川を眺めてはいつも「山のことがいちばん心配や」と。その意味が最近わかってきたように思います。
- ② 鴨川中流、四条橋～五条橋付近も土砂の堆積が激しく、川底が年々浅くなっているように思われ、今後大雨による増水が心配されます。定期的な堆積土砂の撤去は行えないのでしょうか。

②<災害復旧>護岸補修

<2件のご意見を頂戴しました。>

- ① 多くの人の憩いの場を守る豪雨に負けない護岸補修
- ② 護岸や護床工のきめ細かい点検を実施し、早急に進めていただきたい。
 - ・参考意見ありがとうございました。

- ① 毎年、気候や気象に振り回され、まるで生き物のように変化し、痛手を負う川、想定外のことが毎年のように起きています。北大路橋下流の河川敷は多くの人の集いの場です。豪雨に負けない護岸補修を願っています。
- ② 護岸補修は災害復旧なので早急に進めていただきたいと思います。普段から、護岸や護床工の点検作業をきめ細かく実施していただきたいと思います。

③<環境整備>園路舗装

<2件のご意見を頂戴しました。>

- ① 新しい技術でより安全な高水敷園路の整備
・参考意見ありがとうございました。
- ② 土系舗装の理由
・

- ① 川は私たちの命と繋がっていますから、次々に問題点を見つけ出し、丁寧に実行していかれる関係者の方々には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。新しい技術でより安全な高水敷園路の整備をお願いします。
- ② 土系舗装は、この区間だけでしょうか。今後、他の土系舗装の区間も同様に整備される予定でしょうか。
土系舗装をこれまでされていた理由は何だったのでしょうか。景観として、またランニングなどにおいては、土系の利点もありそうですが。

④<環境整備>公園整備

<2件のご意見を頂戴しました。>

- ① 目に見える形で進められ、今後意識して美しい変化を感じたい。デザインも安心
- ② 立派なトイレが整備され大変嬉しい。出入りしやすい公園の出入口を希望
・参考意見ありがとうございました。

- ① 葵公園整備の中でトイレ完成は、着実に目に見えるかたちで進められてきて、今後も意識して美しい変化を感じていきたいと思います。デザインも安心しました。
- ② まだ利用はしていませんが、公園の外から見ていて立派なトイレが整備されたようで、大変うれしく思います。ありがとうございます。また、今年度は園路広場の整備、と資料に書いてありました。柵や垣を含める園路が整備されるのでしょうか。人の流れを考えると、河合橋付近の垣は、中が見えないので、不要だと思います。立派なトイレが皆さんに利用していただけるよう、出入りしやすい公園の出入口を希望します。

⑤<治水対策>護床工再整備

<3件のご意見を頂戴しました。>

- ① 住宅への越水は何より恐ろしいため最強のインフラ整備をお願いしたい。
- ② 整備されることになってよかった。見栄えの良い整理をお願いしたい。
- ③ 河床低下は他の地点でもあるのではないかと？早めの対策・対応をお願いしたい。
・参考意見ありがとうございました。

- ① この会議に参加させて頂いてから、鴨川をめぐる周辺の変化に敏感になり、出先でもつい意識して川を眺めるようになりました。その整備は北から南まで尽きることがありませんが、はじめての現地調査で訪れた最下流のこの天井川の景色は、どこより危険に思えました。住宅への越水はなにより恐ろしいことです。最強のインフラ整備をお願いします。
- ② 私が第49回鴨川河川会議で「五条大橋の左岸に、大きなコンクリートブロックが乱雑に積まれていて、きれいな鴨川のイメージをこわして興覚めます」話したことが反映されたかどうか分かりませんが、整備されることになって良かったです。
その時は雨天時の下水道の吐け口の護床のためにあるとの説明で、前回の会議でも下水吐け口の水質の問題が出されていましたが、晴れた日に、子供連れの家族が魚取りや、

水遊びをしたり、またカップルが石の上で写真を撮ったりしているので、見栄えの良い整備をお願い致します。

- ③ 護床工の再整備について、河川全体にわたって河床が低下傾向にあるならば、今回の地点だけでなく、他地点でも同様な事象が発生していくのではないのでしょうか？
早めの対策、対応をお願いしたいと思います。

2 令和3年度の鴨川等における橋梁工事について

<4件のご意見を頂戴しました。>参考意見ありがとうございました。

- ① 御蔭橋は長年の地元民の祈願がかない、今後、橋の恩恵が期待できる。
 - ・今後の架け替えは周辺の景色や歴史をかんじさせる工夫があれば良いと思う。
 - ・一律のデザインでなく、その場所に相応しいデザイン等の工夫を望む。
 - ② ひっそりと咲いていた桜（ど根性松のような）が撤去され淋しい。
 - ・毎春楽しみにしていたが、知らない間に撤去された。
 - ・そういった樹木のために小さいうちからの移植を望む
 - ③ ど根性松は新名所になるのではないかと？
 - ・土木事務所のホームページで、紹介することを希望。英語版でも。
- ①から③について参考意見ありがとうございました。
- ④ 改修箇所数と費用は例年と比較してどうなっているか？単年度で終了するのか？
 - ・1をご参考ください。

- ① 上賀茂神社の参道にもあたる御蔭橋が、立派な橋に生まれ変わることは、上賀茂や西賀茂の人にとっては本当に長年の祈願でした。観光バスの渋滞や交通事故、立ち退きのトラブル話などが、橋の近くの友人から、しばしば私の耳にも入ってきましたし実際とても運転しづらい道でした。完成はいつのことやらと思っていたら、着々と工事が進みました。これから御蔭橋周辺の環境は大きく変わります。これで外国からのお客様にもゆったりと、世界遺産の上賀茂神社を堪能して頂けます。今後橋のもたらず恩恵は図りしれません。このように橋の持つエネルギーのようなものは、その昔の五条大橋の弁慶と牛若丸の出会いのように、これからもたくさんの人々の思い出や、物語を紡いでいきます。京都の歴史に橋は欠かせないツールです。河合橋、丸太町橋、三条大橋の橋梁工事については、実用性も大事でスピードアップもわかりますが、より慎重に丁寧に手堅く進めて頂きたいと思います。架け替えの場合は、贅沢ですが、お寺や神社と同じように、それぞれの橋にも、そのまわりの景色や歴史を感じさせるような工夫があればと思います。同じような橋ではなく、その場所にふさわしいデザイン、色合い、おもむきを変えるなどです。いつも市と府がとても仲が良いので、川と橋のマッチングがスムーズに進むことを期待しています。
- ② 高野川の馬橋の左岸に「ど根性松」のような桜がありましたマスコミに取上げられる事もなく、どんどん大きくなり、毎春楽しみでした。或る日切られて、突然姿を消した時はショックでした。珍しがられることも話題になることも、意味のあることかもしれませんが、そのようなことは知られていないだけで、この桜のようにどこにも多々あります。松のためにも小さい内に、早めに移植するべきだと思いました。
- ③ 議題①とも共通するのですが、本年度の回収箇所数、費用は例年と比べて、どのような状況でしょうか。費用の合計額がわかれば、伺いたいです。

老朽化した道路、橋梁の改修はその自治体でも大きな課題です。財政的に苦しいとは思いますが着々に計画的に実施することは重要だと思えます。

特に今回の3箇所はいずれも、重要性の高い橋であり、実施は必要だと思えますが、単年度で終了するのでしょうか。
- ④ 自然を愛し、鴨川を愛する皆様の温かい気持ち伝わるとど根性松の移植については、移植先のネームプレートに、移植の経緯やエピソード等を明記して頂くと、鴨川の新名所になるかもしれません。土木事務所様のHPに記載を希望します。これこそ、生きた鴨川の伝説となるのではないのでしょうか。

如何に京都府民に親しまれ、自然を大切にしている風土がわかると思います。英語版での発信も是非ともお願い申し上げます。

3 鴨川条例禁止行為等の指導状況について

<指導件数の減少について3件のご意見を頂戴しました。>

- ① 長年の効果だと思ふ。指導結果を広く周知すべき。
- ② 減少したのは良かったと思ふ。パトロールの成果でしょうか。
- ③ 減少しているが、コロナ禍で滞留する人が増えている、今後増加するのでは？

<自転車乗入れについて2件のご意見を頂戴しました。>

- ① 利用者はゆったりとくつろいでいるため非常に危険。取り締まりをして欲しい。
- ② 自転車乗入禁止を知らなかった。プレートの設置をお願いしたい。

<花火に関して2件のご意見を頂戴しました。>

- ① 光と音で目立つ、スマホでも証拠が残る。安全で静かな鴨川を守って欲しい。
- ② 夏場は増加するのではないか。

<自転車撤去に関して1件のご意見を頂戴しました。>

- ① 保管に手間と費用がかかる。放置者への負担が必要。自転車を大切にしたい。

<河川敷へのゴミ放置について6件の意見を頂戴しました。>

- ① 日本人として恥ずかしい。公共道徳の意義を変えるにはどうすれば良いか？
- ② 見回りや河川美化啓発活動を継続して取り組んで欲しい。
- ③ 連休中は、コロナ禍で行き場を失った子供たちが集まったのではないか。連休後はゴミは多くない。ゴミ箱設置等のゴミ対策を薦める。
- ④ 啓発ポスター等の対策強化、鴨川見守り隊創設、ゴミ部会検討、全域の定点調査
- ⑤ 啓発活動は必要。罰則規定強化を検討してはどうか？
- ⑥ 法律家の意見を聞いて軽微な罰則制度の検討

- ① 指導件数が減少しているのは、長年の指導の効果が出ているからですし、禁止行為が市民にも広く浸透してきたからだと思います。柘野の禁止行為が大幅に減少しているのは、なぜでしょう？普通なら町なかの出町の方が減るはずなのに。
- ② これからもアピールを続ければ、益々効果があると思います。禁止行為を呼びかけることも大事ですが、紙の媒体やメディアで、指導の結果、大きく効果が出ていることを伝えることも必要です。
- ③ ほとんどの人が自転車、バイクで怖い思いをしたことがあると思います。私も夕暮れ時、雨が降り始めて、帰りを急いでいたところ、突然猛スピードの自転車がぶつかってきて、危うく川に落ちそうになったことがあります。河川敷では、散歩やジョギングなど、ゆったりとした時間を楽しんでいて、気が緩んでいるので、本当に危ないのです。取り締まりをしっかりとお願いします。
- ④ 花火は音と光で目立つが故に、目撃者も多数あるでしょうし、今はスマホで証拠も残ります。厳罰化して、安全で静かな鴨川を守ってください。
- ⑤ 自転車の撤去、保管にも手間と費用がかかります。放置者にもそれなりの負担をお願いして、責任と義務を感じて頂きたいです。「長いつきあいの自転車も、とても頼もしい相棒です。家族同然の犬や猫と近い存在では？」と放置者に申しあげたい。
- ⑥⑦ 鴨川を美しくする会の活動にはいつも頭が下がります。写真のまるで動物が食べ散らかしたかのような、ごみの散乱。もってのほかの行為です。日本人として恥ずかしい。見回りしか打つ手はないのでしょうか？公共道徳の意義を変えるには？

禁止区域での指導件数が大きく減少しているのは、良かったと思います。要因としてはどんな点が挙げられるのでしょうか。条例の認知度の上昇、定期的なパトロールの成果でしょうか。

昨年来のコロナ禍で、鴨川での路上のみが増えていると報道されています。

見回り活動、河川美化啓発活動とボランティアの方々含め、大変ご苦労されていると思いますが継続して取り組んでいただきたいです。でないとコロナ後も鴨川での集団飲食などが定着するおそれもあります。よろしくをお願いします。

「鴨川を美しくする会」によるゴミ問題については、連休にコロナのせいもあり、行き場を失った子供たちが、三条、四条、あたりに集まったと見受けられます、6月27日（日）に当会でも現地を見て参りましたが、空き缶一つ見当たりませんでした。お祭りや連休など、例年実施される事例と思われるが、それなりのゴミ対策（ゴミ箱など）を講じられることをおすすめていたします。

例えば12月15日に赤穂で実施される赤穂藩士のお祭りでは、出店と並んで大きなゴミ箱が準備され、従って、著しい混雑にもかかわらず、ゴミは目につきませんでした。

鴨川を美しくする会さま、ぜひ一度現地をご覧ください。

毎年嘆くのではなく、対策を講じられることをお進めいたします。

個人的には、イベントに参加して器や箸など食べかすを持ち帰ることはしないと思います。ゴミ箱が必要と思われます。みなさんはいかがでしょう？

鴨川への入り口に、U字型のポール(ゲート?)があるのは分かっていたのですが、土手への自転車乗り入れが禁止されているのを今まで知りませんでした。逆に、夜間に自転車で走った時、暗いので、地面の凹凸にハンドルを取られて、川に落ちたら、大事故になると思い、危険箇所を照明する、自転車の夜間点灯を必須とするなどを会議で提案しようかと思っていたところです。公園入り口にあるような『自転車・バイク乗り入れ禁止』のプレートの設置をお願い致します。

5月10日、12日の鴨川を美しくする会様の写真を拝見して、早朝のゴミの散乱は、この日だけなのか、毎日なのかが、よくわからないのですが常態化してるようであれば、悲しいことです。

京都では昔から門履きの風習があったのですが、近年のマナーの悪さとパブリック空間を大切にしない風潮には、啓発のポスター等を含めて対策を強化して頂きたいと存じます。

ボランティアの鴨川を愛する見守り隊のような仮称「鴨川見守隊」の設置を検討しては如何でしょうか。小学生の登下校に、道路の交通整理や信号の場所で、見守隊の方々が旗をもって小学生の安全を確保しています。これと同じように、美観を確保する見守隊を募集して、美観の確保等、マナーの向上を推進してもよいのではないのでしょうか。毎日だけでなく、この見守隊の設置によって、府民や観光客の意識啓発にもなるのではないのでしょうか。

鴨川府民会議の設立以来、この美観については何回も議案に上がっております。以前、私がセーヌ川でゴミ箱を見た時、道路にはゴミが散乱しているのに、川沿いにはゴミはありませんでした。これは、道路は生活圏であるけれど、川は生活圏ではないという意識があるからだと思います。フランスから自宅に10日間宿泊した友人は、私が毎日、掃除をして洗濯をするのを不思議がりました。そんなフランス人にも日本人のマナーが悪いというのは、とても悲しいことです。ゴミ部会の検討をお願い致します。

三条、四条間の人出の多い場所とそうでない場所での定点調査をして、状況分析ももう少し詳細にされては如何でしょうか。

バーベキューや河川敷での食事などは全体的には減ってきていると思われませんが、コロナの影響で、河川敷に滞留する人が増えており、今後飲酒も含め増加する可能性があると思われま。

また、ゴミのポイ捨てや花火についても。特に夏場は増加するのではないかと考えられます。

これらのことについて、もちろん啓発活動は必要ですが、罰則規定の強化などの検討すべきではないでしょうか。

コロナ禍という状況であるにせよ、ゴミの散乱は目に余るものがあります。

他の自治体の事例を調べるとともに、法律家の意見も聞かなくては、何らかの軽微な罰則制度を考えていく必要があるかと思えます。

<質問を1件いただきました。>

① ドローンは誰でも自由の飛ばせるか？凧揚げと同じ感覚か？

質問です。鴨川では、ドローンは誰でも自由に飛ばせるのでしたか？凧上げと同じ感覚だったのでしょうか。

・参考意見ありがとうございました。

4 鴨川四季の日～春～の実施結果等について

< 4件のご意見を頂戴しました。 >

- ① 多くのイベントが中止になり、味気なかった。イベントの大切さを思い知らされた。
- ② 多様な生き物の命を育てている豊饒の川、夏の風物詩等、人のぬくもりを感じられるイベントの再開を心から願っている。
- ③ 啓発を鴨川等周辺で展示した方が効果的。従来のイベントのやり方を再点検しても良いのでは。
- ④ 情報発信がもう少し増えないか。府民だよりで知らせてはどうか。鴨川条例を啓発するポスターや府民だよりでのコラムがあってもいいと思う。
・参考意見ありがとうございました。

- ① たくさんのイベントがコロナ禍で中止になり、大人も子供もただただ我慢の日々でした。収束を祈るばかりですが、「鴨川四季の日 春」集い、語らい、情報発信する主なイベントがほとんどなくなったことは、なんと味気なかったことでしょう。毎年当たり前のように行われてきましたが、人を介してのイベントの大切さを思い知らされました。
- ② 夏に予定されているイベントが無事実施されますよう祈るばかりです。「鴨川探検再発見」は川縁近く、鴨川の自然をじかに感じられる良い機会です。魚のこと、鳥のこと、植物のこと、それぞれの専門家の方が、鴨川にずっとかかわっておられることも知らない人がほとんどです。私も鴨川がこれほど多様な生き物の命を育てている、豊饒の川とは、この会議に参加させていただくまで知りませんでした。たくさんの人のパワーを集め、盛り上げることは、ひいては鴨川を、より強い美しい川にすることに繋がると思います。今はもうなつかしい夏の風物詩、大文字の送り火の時、川も橋も溢れんばかりの祈りの人で賑わいます。人のぬくもりを感じられるようなイベントの再開を心から願っています。
- ③ 啓発などは、大切だと思いますが、府庁にでは見る人が限られます。できれば現地（鴨川）もしくはその周辺で展示ができるとより効果的だと思います。コロナ禍でなかなかイベントが実施できないのは残念ですが、むしろ、この間に従来のイベントのやり方内容を再点検してもいいのではないのでしょうか。
- ④ 鴨川四季の日ですが、情報発信方法はもう少し増えませんか？ホームページと府庁での展示ではあまり人々の目にとまらないと思います。府民だよりや地域の掲示板などでお知らせしたらどうですか？イベントもいくつか中止になったようなので、「鴨川条例知っていますか？」のような啓発ポスターや「府民だより」でコラムがあってもいいと思います。

5 第7期鴨川府民会議公募メンバーの意見発表について

< 1件のご意見を頂戴しました。 >

- ① 市民が自ら発表することは良いこと。楽しみにしている。
・参考意見ありがとうございました。

市民の方々が自ら発表される機会があるのは、良いことだと思います。はじめて拝見しますので、どんなご意見がうかがえるか楽しみにしています。

参考配布資料について

< 1件の感想が寄せられました。 >

息子も今から六年前に同じく鴨川の利用者に川のイメージアンケートをとったことがあったので、興味深く拝見しました。

これは、コロナ以前の調査なので、また現在の利用状況とは異なるかもしれませんが、利用目的で散歩が一番になるのは息子の時も同様でした。また、夏休みの午後に調査したので水遊びの人も多かったなと思い出しました。

そして、丸太町橋で上流と下流に分けられたので、もっと下流（例えばくいな橋や二川合流あたり）の方でも意見を聞いてみてほしいと思いました。

武庫川は釣り番組でしか見たことがありません。行ったことがないのでわからないのですが、鴨川との共通点や相違点はこういったところがあったのでしょうか。また教えていただくと勉強になると思いました。